

## ご質問

お名前 五島 誠 (ごしま まこと)

問1 あなたが最も解決する必要があると考える庄原の課題は何ですか。

少子化問題、ひいては本市の人口減少の解決に向けて、今必要な事は、人々の懐を温めることであると考えます。稼ぎを増やす、手取りを増やす、心に余裕が持てる施策が必要だと感じております。
特に若年世代の方の収入面が原因で未婚化、晩婚化、少子化が進むという事態は避けるべき事態であると思います。また、物価高などに起因して人々の生活は本当に厳しくなっています。現に近年生活保護受給者等の数も増加傾向になっています。
そして、恐れる事は「このままこのまちでは何も実現できない」そんな風土が広がり、未来を担う方がいなくなってしまうことです。子供達が夢を持ち、自己実現していけるまちづくりをするためにも最も重要な課題であります。

問2 上記問1で答えた課題の解決に向けてどの様に取り組んでいきますか。

決して財政が裕福ではない庄原市ですが、その中でも市民負担の軽減や、経済支援、企業支援など幅広い政策が必要です。
これまでも子育て支援策などで経済的支援などを拡充させてきましたが、まち全体で子育てを応援する風土を更に高めていくためにも、「庄原未来基金（仮称）」をたちあげ、市内はもとより市外の方県外の方にも呼びかけ、広く子供達やこれから挑戦していく方への資金づくりを行う事を提案します。
また、市民負担軽減については厳しい財政状況下でも取り組んでいけるよう議会の議題に取り入れ、集中的に議論できるように致します。
企業支援や起業・副業支援、産業起こしや働き方改革、取り組むべきことは山積しています。まずは、選挙のあり方、働き方改革の始めとして夜間の選挙カーを自粛します。

問3 なぜ、市議会議員を志されたのかを教えてください。

12年前当時、おじさんばかりでこのまちの大切な事がすべて決まっている状況を変えていかなければいけないと強く感じ、市議会議員選挙に出る事を決めました。
科学技術の進歩や、文化変容などめまぐるしく変わっていく社会情勢のなか、庄原市も変わっていかなければならないし、私自身も変わらなければならぬと感じました。
飲みながら愚痴を言っても始まらないし、恥をかくだけで建設的とは言えませんでした。
学生時代に会った若手市議会議員の方たちの事を思いだし、未来に責任を持って行動しようと思ひ、「今やらなければいつやるのか。自分がやらなければ誰がやるのか。」
その精神で市議会議員を志しました。